

HIRAYA COTTAGE

Builder：窪田建設

セカンドハウスだからこそ選びたい「小さな平屋」。 自然に包まれた暮らしを心ゆくまで楽しむ

余分なものを削ぎ落とし、コンパクトな平屋で身軽に暮らす——。窪田建設はこの可能性にいち早く着目し、多数の平屋住宅を手掛けてきました。小さな住まいは、多様な価値観やライフスタイルに寄り添い、二拠点居住や週末住宅にもびったりです。今回は、窪田建設が手掛けた平屋で二拠点居住を実践する、Tさんご夫妻のお宅を訪問しました。



A

B

C

D | E

A_庭の見晴らしのいい場所に独立した二つのデッキテラスを。手前のテラスでは、テントを張ってキャンプ気分を味わうこともあるそう。「夜は星がよく見えるんです」とご主人。 B_リビングのソファ正面は森を切り取るピクチャーウィンドー。お気に入りの照明とアート、そして床に置いたバイオエタノール暖炉で別荘らしさを演出。 C_壁の一面のみ色を変えてアクセントウォールに。 D_部屋のコーナーに立っているのは高音質のスピーカー。これを置くことを前提に、窓の位置やインテリアテイストを決めていった。 E_窓を開ければ心地よい森の風が通り抜ける。冬と夏を過ごした結果、エアコンは不要と判断したそう。

小さいからこそ豊かに暮らせる家。
豊富な実績から生まれた知恵と技術

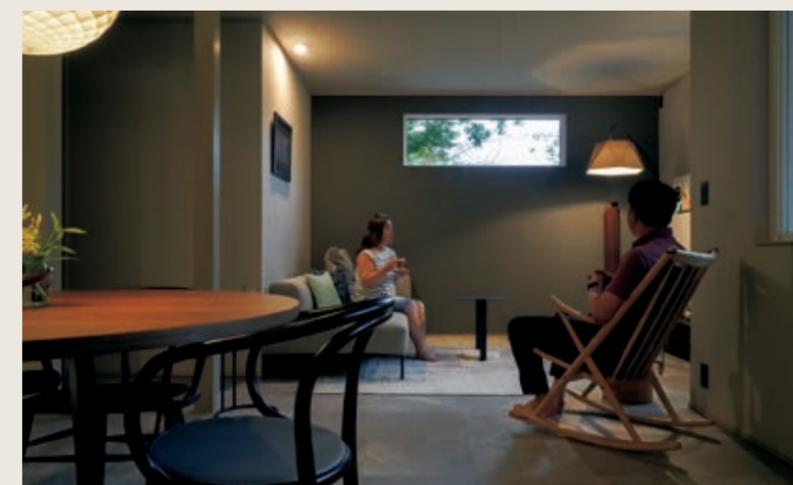
横浜に暮らすTさんご夫妻が二拠点居住の地として選んだのは、御代田町。美しい森と空に囲まれたコンパクトな平屋で、穏やかな時間を過ごしています。

「ここはセカンドハウスですし、私たちは夫婦二人暮らし。必要な空間だけを備えた小さな平屋が最適でした。大きな家はそれだけ建設費がかかり、管理の手間も増えてしまい、理想の暮らしから遠ざかってしまいますから」とTさん。

ご夫妻が依頼したのは、上田や軽井沢、御代田、佐久など東信地域を中心に展開する窪田建設。同社を選んだ理由は、平屋の豊富な実績と多彩なバリエーションにありました。

同社は、平屋人気が高まる前からコンパクトな平屋の可能性に注目し、快適な動線や採光、通風を考え抜いた設計と豊富な経験をもっています。その間取りは「小さい家＝狭い」という従来のイメージを覆すもので、「子供部屋は6畳」といった固定観念にとらわれず、「ダイニングで勉強するなら4.5畳で十分」といった柔軟な考え方に基づいています。

建材やエネルギーの価格が高騰する今、小さな家は建築費や光熱費を抑えられる点が大きなメリットです。窪田建設の技術と知恵が凝縮された平屋ベースの規格住宅「縁側家族」と「YOROKOBi」は、高性能かつ低価格。規格住宅でありながら、間取りや内装のアレンジ幅が広い点も魅力です。Tさんのように、建物にかかる費用を抑えることでインテリアや外構に予算をバランス良く配分し、トータルで豊かな住まいを実現することが可能です。





自然と一体となる設計で、セカンドハウスに最適

Tさんが言うように、コンパクトな平屋はセカンドハウスに理想的です。一般に別荘というと贅沢なイメージがありますが、「縁側家族」は1,000万円台からという価格設定で、家づくりのハードルを下げてください。別荘や移住を検討している人には、土地探しやリモートでの現地調査、オンラインでの打ち合わせにも対応しています。

縁側やテラスなど、内と外をつなぐ中間領域をゆったりと設計し、自然を感じられる暮らしを提案している窪田建設。例えば「縁側家族」の場合、奥行き約1.8mの広々とした縁側が標準仕様です。深い軒が雨や日差しを遮るため快適に過ごせ、ラグを敷いて食事を楽しんだり、洗濯物を干したり、屋外で過ごす時間を日常の一部にしてくれます。

T邸では、庭を眺めながらくつろげる軒のあるウッドデッキと、独立したウリン材のデッキテラスを設けました。友人を招いての食事や、奥様が抹茶を点てておもてなしをするなど、自然の中で豊かな時間を過ごしています。

実はTさんは住宅関連の仕事をされており、自然と共に暮らすセカンドハウスを不動産から建築、インテリア、造園まで一体的に提案するプロジェクトを立ち上げました。建築を担当するのは窪田建設。建物と庭をトータルで計画することで、コンパクトながらも豊かな住まいを実現する——。セカンドハウスの新しい形が生まれつつあります。



F_間取りや内装コンセプトはご主人が計画。ダイニングとリビングは天井高を変えて緩やかに分けた。家具と照明は知人の家具ショップの協力を得てコーディネート。家具や照明の位置とサイズを先に決めたため、スイッチやコンセントの位置も合理的に設けられている。G_エクステリアも一体で計画。入り口のゲートが非日常感を高める。H_インテリアの色はグレージュで統一し、壁紙や床材、巾木まで調和させた。I_隣家に面する東側のワークスペースはハイサイドライトのみに。J_ここではテレビより音楽や本にじっくり触れ、横浜とは違う時間を楽しむ。





K
L | M

K_「ここで過ごす五感が鋭くなる。雨の音も心地よく、野菜の味わいに感動する」とご夫妻。 L_庭に面した西側には軒で覆ったウッドデッキを設け、くつろぎの場に。 M_見晴らしのいい場所に配置したデッキテラスは、友人たちを招いて食事を楽しめるアウトドアダイニング。屋根と壁をオーニングやスクリーンで覆いブラインドを保つと同時に、日差しと雨から守る。

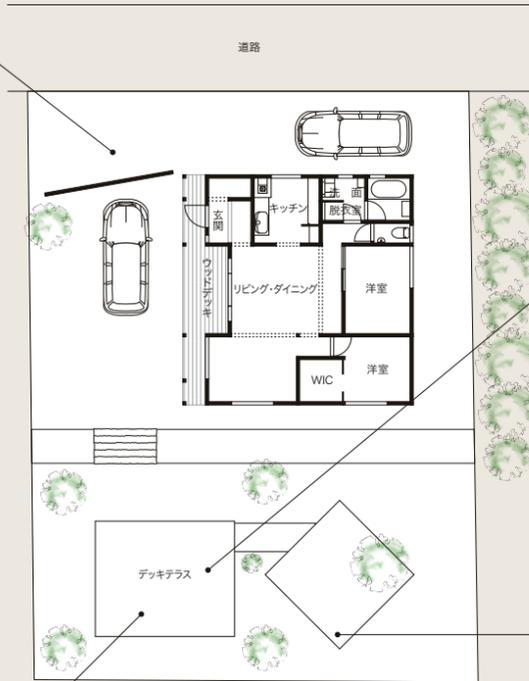
協力：NOOK&CRANNY (ヌックアンドクラニー)
https://nookcranny.jp



ダウンライト付きの門柱
シンプルなエントランスゲート。
道路と敷地をゾーニングする
機能を合わせもつ。



デッキテラス
バーゴラのあるBBQスペース。
オーニングが直射日光や突然
の雨を防いでくれる。



屋外照明
足元を照らす照明が
ラグジュアリーな雰
囲気を演出。安全面
にも配慮されている。



テントサイト
テントを張るために
設けたステージ。家
にしながらキャンプ
気分が味わえる。



PLAN

延床面積	71.21㎡	(21.50坪)
有効庭面積	149.00㎡	(44.98坪)
駐車場面積	81.00㎡	(24.45坪)
敷地面積	426.85㎡	(約128.86坪)

MULTI-UTILITY

豊かな信州暮らしのために、移住、別荘、
二拠点居住など多彩なニーズに対応します。

近年、全国各地から「信州移住」を希望される方が増えています。
中でも移住先で人気なのが軽井沢、御代田、佐久、小諸、東御、
上田など「東信地域」と呼ばれるエリア。
この東信地域を中心に多種多様な家づくりを手がけてきた窪田建設に
は、長い歴史で培ってきた豊富な実績と知識、高度な技術があります。
信州の気候風土を知り尽くした地元工務店だからできる、より豊かな
信州暮らしをご提案いたします。

SUPPORT

サポート体制

- 1 オンラインもしくは
来場にてご要望を
お聞きします
- 2 土地探し
現場調査
- 3 間取りのご提案と
概算見積りの
提出

※こちらの作業は無料で承ります。

AREA

施工対応エリア



■ このエリアは遠方料金が発生します。

一般エリア

上田市/東御市/坂城町/青木村/小諸市/
佐久市/立科町/長和町/千曲市/長野市(一
部を除く)/御代田町/軽井沢町/筑北村/麻
績村

遠方割増エリア

長野市(一部を除く)/須坂市/小布施
町/中野市/松本市(一部を除く)/安
曇野市/佐久穂町

※上記以外もお気軽にご相談ください



移住事例/御代田町 3人家族



移住事例/上田市 3人家族



移住事例/小諸市 2人家族



二拠点居住/上田市 (SENKO TINY CAMP)

Zoomで移住相談ができます!

「移住を考えているけれど、なかなか直
接会えない…」という方には、オンライン
相談がおすすめ。土地探しの考え方から
家づくりまで丁寧に説明いたします。



オンライン相談

YouTubeで ルームツアーもご覧ください。

「縁側家族」公式YouTubeチャンネル

